



躍動

令和7年12月23日

校長 小西 昭仁

2025年は、皆さんにとってどんな1年でしたか…

冬休みを迎えます。2週間ほどの短い休みですが、年末年始ということで、皆さんはいろいろなことを思い浮かべながら、計画を立てることでしょう。冬休みは1年の締めくくり、新しい年を迎えるという特別な節目のある休みです。中でも正月は、1年間の無事や健康を願って、おせち料理や雑煮を食べる家庭もあると思います。雑煮はそれぞれの家庭によって、角餅や丸餅、すまし汁仕立てや味噌仕立てなど、各々の味が引き継がれています。

そのような冬休みに、家族と団らんする時間を是非大切にしてください。この時期は、家族の方が一時休みになる家庭が多いと思います。また、年末年始には親族が集まったり、ご両親の田舎を訪れたりする人もいるでしょう。いつもより共に過ごす時間が多くなる中で、何気ない身近な話題でも構いませんが、できたら普段なかなか話せないことや将来の夢などをじっくりと話すことができると、とても良いと思います。顔を合わせて話をする中で、触れ合うことの温かさを感じながら、一番身近な家族について考え、絆をさらに深めてください。

それぞれの家庭で引き継がれてきた雑煮の味や新年の迎え方も、家族の会話の中で受け継がれてきたに違いなく、次にそれを残していくのは、皆さん一人一人です。

良いお年をお迎えください。



桜歌祭 ～今のクラス・仲間で創り上げた Only 1 の歌声でした～

インフルエンザの影響で延期とはなりましたが、12月3日（水）市川市文化会館大ホールを会場に、「桜歌祭（合唱祭）」を開催することができました。

生徒たちに「桜歌祭へどんな想いがありますか？」と問いかけた時、「1年生は初めての経験」「2年生は昨年度を振り返りながら新しいクラスでの挑戦」「3年生は昨年度の経験を生かし、さらなる高みと感動を目指して臨む最後の桜歌祭」と各学年想いや意気込みはそれぞれでした。

しかし、音楽の授業や放課後に聴こえる皆さんの歌声は、日々力を増し、美しいハーモニーへと変わっていきました。また、実行委員を中心に桜歌祭に向けてクラスが一つになっていく姿を見せてくれました。さらに、各クラスの想いのこもったポスターを眺めている表情を見た時に、「楽しみだな」「頑張るぞ」といった雰囲気を感じ、私の桜歌祭への期待は膨らんでいきました。

そして、延期によってリスタートした時には、これまでの歌声に増して気持ちが一段と高まり、一人一人の一生懸命さやクラスごとそれぞれ違った良い雰囲気を感じました。

当日は、短い時間ではありましたが、リハーサル室で気合いの入った練習をして、仲間同士で鼓舞し合う姿が印象的でした。そして本番、待機するステージ袖では緊張する姿もありましたが、ステージ上では練習の成果を発揮し、各クラスがこれまでで一番の歌声を聴かせてくれました。

1年生は、元気溢れる初々しい歌声でした。2年生は、各パートがしっかりと声を出し、素敵なハーモニーを響かせてくれました。3年生は、素晴らしい歌声にとどまらず、歌詞に込められた想いが伝わってくる合唱で、どのクラスからも団結力を感じることができました。

開会式で私は、「合唱祭は『Best 1』より『Only 1』です。クラスが一つになって創り上げる歌声は、会場で聴いてくださる保護者や担任にとっては『No. 1』となるはずです。」と伝えましたが、全校が今回の桜歌祭のテーマ「相思奏愛」の如く、合唱を通して、クラスのメンバーと互いに協力し、演奏することを好きになってくれたのではないかと感じました。

また一つ成長した皆さん、これからもみんなで力を合わせて一步一步前進していきましょう。

最後に、生徒の感想の一部（抜粋）を紹介します。

- 1年生：最初はみんなボロボロで「これはまずいかも…」と思いましたが、練習を重ねるうちに「うまい!」と思って安心しました。ただ、音の強弱がうまくいかず、曲の厚みがなかったことが課題だと思いました。また、先輩方の合唱を聴いて、2年生は迫力と各パートのバランスが良かったし、3年生は講師の先生がおっしゃっていたとおり歌詞の気持ちが伝わってきました。みんなでアドバイスを出し合ったり、協力をしたり、楽しかったです。
- 2年生：練習の最初の頃は、全然声が出なくて合唱が成立していなかったけど、徐々にやる気が出てきて努力してくれる人が増えてきました。本番ではみんな緊張した中、声がとても良く出ました。賞は取れなかったけど、それがすべてではないので、みんなが楽しそうに歌っていて良かったと思います。この合唱練習をとおして、クラスの団結力が高まり、仲も深まりました。だから、日々の給食や清掃などもみんなで協力をし、先生が声かけをしなくても仲間同士で声かけができるクラスにしたいです。
- 3年生：音の強弱に変化をわかりやすくつけることで、メリハリのある良い合唱をつくることができました。本番は緊張している人もいましたが、今までで一番の合唱をしようとみんな笑顔で歌うことができ良かったです。みんなで一つのことに協力をして取り組むことができ、クラスの団結力も深まったと思います。卒業式では、もっとバランスやメリハリがあり、聴いている人が感動してくれるような合唱を創り上げたいです。
- 桜8組：市川市文化会館で桜歌祭がありました。私たちは「Believe」を歌いました。一番思い出に残っていることは、大きな声で歌ったら、歌い終わった後にみんなに大きな拍手とほめてもらえました。楽しかったです。

3年生と校長面接を実施しました

9月から、3年生一人一人と校長面接を行いました。どの生徒からも緊張している様子が一目でわかりました。また、校長室への出入りや礼法等の所作を慎重に行ったり、普段使い慣れない言葉遣いをしようと丁寧に話したりと、真摯な態度を随所で感じました。

内容は、「第1志望校の志望理由」「中学校生活の思い出・力を注いだこと」「自己アピール」「将来の夢」「最近の社会の出来事で気になったこと」など、各生徒の受検(験)校の面接形態に合わせて実施しました。

また、すべての生徒へ「尊敬する人・憧れている人とその理由」を聞きました。「スポーツ選手や有名人などのそれぞれが興味や関心のある分野の方々」「歴史上の人物」など、その理由とともに良い表情で「目標にしたい人です」と語ってくれました。中でも「父・母・兄姉・祖父母」「先輩・親友」「担任・部活動顧問」と語る人が数多くいました。自分を支援してくれる身近な人たちに敬意や感謝の気持ちを持っていることに、私はとてもうれしく思いました。

進路選択に限らず、これから先の様々な場面で、幾度と面接の機会はあると思います。今回の緊張した気持ちと真摯な姿勢を忘れずに、また私の助言も参考にしてもらって、臨んでいってほしいと思います。

10分程度の短い時間でしたが、一人一人といろいろな話ができただ有意義な時間でした。お疲れさまでした。そして、ありがとう。受検(験)本番まで残された時間を体調に気をつけながら、有効に活用してください。応援しています！

【冬季休業中の学校の対応について】

- 平日（12月24日〔水〕・1月5日〔月〕）は、8時10分～16時40分の間、事務室で職員（日番）が勤務しています。電話対応（047-371-7341）も上記時間内での対応です。
- 上記の時間外、土日・学校閉庁日（12月25・26日〔木・金〕）、年末年始休業は、終日留守番電話対応（応答なし）となります。
- 学校で対応できない時間での緊急を要する連絡は、下記にお願いします。
学校携帯 070-1185-4417